

四季の移ろいを感じ楽しむ

# 七十二候

立春 初候

## 東風解凍

はるかぜこおりをとく

2月4日～2月8日頃

凍てつく大地が解け出して

命に満ちた春が目覚める

厳しい寒さの中で凍えていた生命が、再び動き出します。「東風」とは春を知らせる暖かい風のこと。「こち」「とうふう」とも読みます。七十二候を生み出した中国の五行思想で、春を司る方角とされる「東」から吹く風を「はるかぜ」と呼ぶようになったようです。寒さの残る時期ですが、暖かな風は着々と大地を解かし、春が目覚めていきます。

春一番が吹いたらよいよ暖かな季節の到来。春は「晴る」「張る」などに通じ、新しいことを始めるのにふさわしい時期でもあります。東風がそっと背中を押してくれるかもしれません。

1年を24等分した二十四節気(立春、春分など)を、それぞれ3つの「候」に区切った節目を七十二候といいますが、移ろう季節を愛でる日本人の豊かな感性を象徴しています。



鳥目白



きざし 春一番



行事 初午



野菜 蔕の臺

### 開運ポイント

チャレンジしたいことや願いを書き留めた紙を部屋の東側に貼り、窓から吹き込む東風を感じながら、元気いっぱい新たな一歩を踏み出しましょう。

## 神宮館 REPORT

「大前恵比寿神社

代理参拝」

2021年9月30日(木)

開催

お金との縁を強くする金運招福を祈願

新型コロナウイルスが蔓延中のため、皆様の代理で金運招福や商売繁盛のご利益で有名な大前恵比寿神社にて、お金との縁を強くする金局三合法を用いて金運招福祈願を執り行ってきました。

金局三合法とは、「巳」「酉」「丑」の3つの十二支を組み合わせて金運を上昇させる方法で、4年に一度しか巡ってこない年・月・日で金局三合が揃った2021年9月30日に参

拝しました。

日本一のえびす像は20mの高さがあり、商売繁盛のご利益がある東南の方位を向いています。そのえびす像のある恵比寿殿で宮司様による金運招福と商売繁盛の祈願が行われました。

次に正面にある黄金釜に皆様の氏名が書かれた用紙を入れて、さらに金運上昇を願いました。皆様に金運が招福することを切に願います。



▲大きなえびす様が迎える



▲黄金釜でお浄めと金運祈願を行う

### 《次回告知》

昨年11月の高尾山輪王寺の開運ツアーについてご報告します。お楽しみに!

### 応募方法

は郵が便 「お名前」「郵便番号」「住所」「電話番号」「生年月日」「クイズの答え」「ご意見・ご感想」を必ず明記ください。

〒110-0015 東京都台東区東上野1-1-4 株式会社神宮館 「ももとせクイズ」係

ウェブサイト <https://jingukan.co.jp/momotose-present/> 右のQRコードを読み込み、応募フォームにアクセスしてください。



応募締切 2022年3月末日

※当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

### 今回のプレゼント

ヒアルロン酸マスク(3枚入り) 3名様

マスクの色は写真と異なる場合があります。



※前回の答え 「招き猫」



ももとせクイズ

和氣神社には狛犬ではなく別の動物が鎮座している。その動物とは?

ももとせ便り

No.54

発行/神宮館

東京都台東区東上野1-1-4

TEL 03-3831-1638

<https://jingukan.co.jp>

発行人/木村通子

MOMOTOSE DAYORI

# ももとせ便り

春号

令和4年壬寅

JINGUKAN

No.54

### 桜文様

咲いても散っても、昼も夜も、見る人を魅了する桜は、歌や絵画などにも数多く登場します。そんな桜を描いた文様は「稲(さ)の神が宿る座(くら)」ということから「五穀豊穰」、春の訪れを告げる花であることから「物事の始まり」といった意味を持ちます。春の風物詩である花見は、豊かな美りを願う、桜を愛でながら神様をもてなしたのが始まりだともいわれています。

### 特集

神話伝承シリーズ⑥

火山と生きる湯の町

霧島

# 火山と生きる 湯の町 霧島



鹿児島県中央部に位置する霧島市は、鹿児島市に次ぐ人口規模を有する市。1934年に日本で初めて国立公園に指定された霧島連山の雄大な自然や、その麓から湧き出る温泉に恵まれている。全国屈指の人気を誇る霧島温泉だけではなく、大いなる自然の恵みを共に満喫できるスポーツやレジャー施設なども多数存在する。



霧島神話の里公園から望む高千穂峰



▲和氣神社の猪

する「犬飼滝（いぬかいのたき）」霧島温泉郷の中心にあり、足湯や温泉の蒸気で

蒸した卵や野菜を味わえる「霧島温泉市場」を経て、邇邇芸命を御祭神とする霧島神宮を訪れた。朱色の鳥居をくぐり、緑深い杉木立の参道を進むと、朱塗りの社殿が見えてくる。創建は6世紀と古いのが、霧島連山の噴火による焼失と再建を繰り返しており、現在の社殿は1715年に島津吉貴が寄進し建立したものだそう。社殿の軒には極彩色の猿（ばく）と獅子が施され、中国大陸の影響を感じる。また社殿近くには御神木の高さ約35m、樹齢

## 高千穂峰を望む

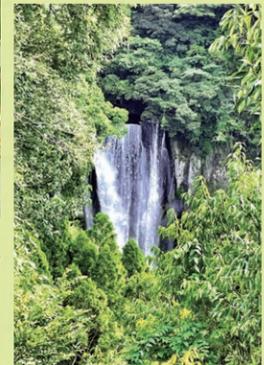
最後に訪れたのが霧島神話の里公園。併設されている道の駅でお土産を購入したり、霧島黒豚料理を味わうこともお勧めしたいが、天孫降臨で天降ったとされる高千穂峰を一望できる山頂まで足を伸ばしてほしい。駐車場からロード



▲ロードトレイン「ポッポ列車」



▲霧島温泉市場の温泉卵



▲滝見台から望む犬飼滝

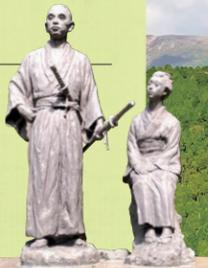
からロードトレイン「ポッポ列車」に乗車し、そこから遊覧リフトに乗って辿りつける。高千穂峰を望む雄大な景色は圧巻で、左斜面の急勾配さ、右斜面のゆるやかさ

## 日本最初の新婚旅行

今回の目的地、霧島神宮を訪れるのは車が便利なのだが、道中に立ち寄ることをお勧めしたい場所が豊富なのもその理由。その一つが塩浸温泉だ。坂本龍馬が1866年の寺田屋事件で受けた刀傷を癒すために、妻お龍とともに薩摩を訪れた際、18日間滞在した塩浸温泉を中心にした霧島を巡る旅は、日本最初の新婚



▲塩浸温泉龍馬公園



▲坂本龍馬とお龍の像

旅行といわれている。濁りとわずかに鉄の臭いのするの

特徴の温泉に癒されるのはもちろん、身長が174cmあったとされる等身大の坂本龍馬とお龍の像や、龍馬資料館「この世の外」など、近代日本の礎を築いた龍馬ゆかりの地を堪能してほしい。

## 幾度も再興を成した霧島神宮

その後、狛犬ならぬ狛猪が出迎えてくれる「和氣神社」、霧島山を源流と



▲霧島神宮の社殿



▲極彩色の猿と獅子

800年余りの巨大な杉があるのだが、南九州の杉の祖ともいわれている。



▲遊覧リフト



▲山頂には坂本龍馬とお龍そして天の逆鉾のレプリカ

- DATA
- 和氣神社(わけじんじゃ) 霧島市牧園町宿窪田 3986
  - 霧島神宮 霧島市霧島口 2608-5

## 霧島 おすすめスポット



標高600mから850mに位置する霧島山の懐から湧き出る多種多様な温泉は、あらゆる症状に効果がある。

霧島温泉郷



高さ23m、幅16mの滝つぼがエメラルドグリーンに見える滝。これは上流の林田温泉や硫黄谷の湯が集まり、湯が流れ落ちているから。

丸尾滝



道の駅霧島「ほつと霧島館」の黒豚とんかつ定食

霧島神話の里公園に隣接している道の駅では鹿児島島の幸を味わえる。

## にぎのみこと 邇邇芸命の天孫降臨とは

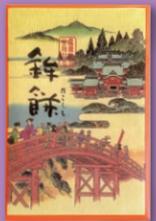
天照大御神の命を受けた邇邇芸命は、三種の神器を携え五伴緒(いつとものお)を従え、葦原の中津国を治めるために高天原から高千穂峰へ天降る。その子孫となる神武天皇が初代天皇として、日本国を治めたとされている。※天孫降臨に従った五神[天屋屋命(あまのこやねのみこと)・太玉命(ふとだまのみこと)・天鈿女命(あまのうずめのみこと)・石凝姥命(いしこりどめのみこと)・玉祖命(たまのおやのみこと)。]



## 今回の旅で 購入したお土産



芋焼酎「赤猿」鹿児島県の小正酒造が製造している紫芋を使った芋焼酎のスパークリング。



霧島神宮参拝記念菓子「餅餅」

霧島神宮でしか購入できない、粒あんを包んだ俵型のお菓子。